

ブレイン・インパクト

第2部：男と女

雄と雌

一性 VS 二性

- ▶ 種が個体数を増やすだけなら雌雄同体の方が圧倒的に有利
- ▶ 性行為中は無防備状態となり、捕食者に捉われるリスクを高める
- ▶ 性行為は性感染症のリスクも高まる
- ▶ 我々は何故、二性システムを採用したのか？

性の起源

- ▶ 38億年前～25億年前、単細胞生物は放射線から生き残るために、遺伝子の移送システムを生み出した
- ▶ 遺伝子には放射線に強いものと弱いものがあり、混ぜ合わせる事で防御力を上げる事にした
- ▶ 初期の頃には一方がもう一方を吸い込む形で融合しており、これが性の起源
- ▶ 性行為の起源はある意味で共食い
- ▶ 高等動物になるにつれて受精方式で遺伝子を混ぜるようになった

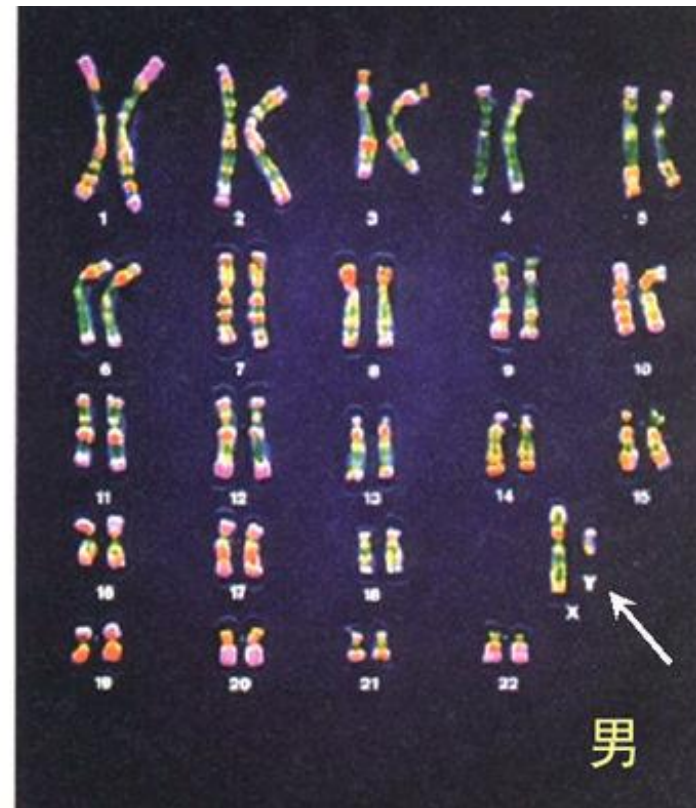
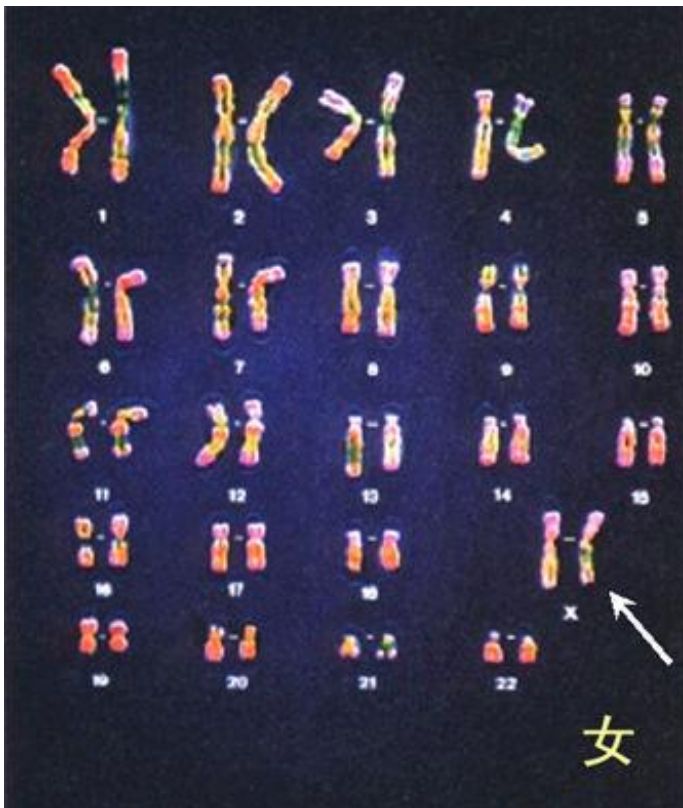
交配の本質

- ▶ あるカタツムリは雌雄同体で繁殖にセックスを必要としないが、雨季になると雌雄が分かれてセックスをする
- ▶ 子孫を残すためではなく、遺伝子を入れ替えて、寄生者の攻撃をかわすために行われている
- ▶ 交配の本質は遺伝子の混ぜ合わせによる強化
- ▶ 多様性を効果的に手に入れるのに有性生殖という手段の右に出るものはいない
- ▶ 地球の生物は放射線やウイルスなど、あらゆる圧力に二性システムで対抗している

雌雄の決定

- ▶ 動物界では途中から雌雄が分かれたり、生殖能力を持ったりと非常に柔軟的
- ▶ ハゼの一種は社会的な刺激を受けると、雄になったり雌になったりする
- ▶ ベラ科の魚、ワニ、トカゲは環境によって子どもの雌雄が左右される
- ▶ ヒョウモントカゲモドキの卵は気温が高過ぎたり低過ぎると雌になり、その中間で雄となる
- ▶ 人類のように男と女で最初から最後まで分かれている方が珍しい
- ▶ 雄と雌という区別は生物界のスパンで見ると、実に曖昧

男女の遺伝子



男と女の定義

- ▶ ヒトはデフォルトが女で、胚が多くのテストステロンに晒されるとY染色体を持って男になる
- ▶ テストステロン受け渡しがうまく行かないと、XYでありながらペニスが作られない事がある
- ▶ XYでありながらクリトリス、陰唇、膣を持ち、思春期に乳房まで発達する事がある
- ▶ 逆に必要以上のアンドロゲンに晒され、XXでありながらペニスのように大きいクリトリスと不完全な陰嚢を持つ事がある
- ▶ XYなのに精巣が体外に下がらず、ペニスが大きめのクリトリスのように見えて女性として育てられる事もある
- ▶ つまり、人類の男女区別も実はかなり曖昧

男女の対立

- ▶ 子どもを作ったギネス記録は男性で888人、女性で69人
- ▶ 子どもを作るのに男性は数分と1回の精液が必要、女性は9ヶ月の妊娠と長期に渡る授乳が必要
- ▶ これは男性が「量」、女性が「質」に責任を持つ事を示している
- ▶ この責任の違いから、男女の利害は対立せざるを得ない
- ▶ レイプは男女の繁殖戦略の違いから生じた当たり前の現象とも言える

一夫一妻 VS 多婚



ヒトは一夫一妻か？

- ▶ 人間は単一型と言える程似ていないが、性的二型と言える程似ていなくも無い
- ▶ 一夫一妻を採用しているが、それ程徹底しているわけでも無い
- ▶ 今のところ人類は連続一夫一妻制
- ▶ 男の傾向として、中性的な人は一夫一妻的、男らしい人は多婚的

2つの連続一夫一妻制

- ▶ 鳥類：連続一夫一妻・修正型
- ▶ 人類：連続一夫一妻・進化型
- ▶ 進化型は自分と相手の成長スピードが揃わなくなった時に、離別する事になる
- ▶ 逆に言えば、お互いが同じように成長し続ける限り、パートナー関係は続く

一夫一妻ホルモン

- ▶ 一夫一妻制の背景にあるのはオキシトシンとバソプレシン
- ▶ 「信頼ホルモン」「絆ホルモン」とも呼ばれ、夫婦間の協力関係を作っている
- ▶ ヒトのオキシトシンは出産や初授乳に際に上昇し、母子の絆の形成にも役立つ
- ▶ また、苦しんでいる相手に近づく際に感じる戸惑いや不快感も軽減させる
- ▶ セックスやオーガズムとも関係があり、相手に愛着をもたらす

オキシトシンの誤解

- ▶ オキシトシンは信頼や絆を形成する事から、コミュニケーション向上や惚れ薬としてサプリメントが販売されている
- ▶ 実は、オキシトシンの分泌量が増えると、見知らぬ相手へ攻撃性が増す事がわかっている
- ▶ オキシトシンはコミュニティメンバーをひいきにし、よそ者に敵意を促すもの
- ▶ 必ずしも人間関係を良くするわけでは無い事に注意する

恋愛の期間

- ▶ 最近の研究では恋愛における情熱と心酔のピーク期間は最大3年であることがわかった
- ▶ 子どもを育てる必要な時間が平均4年で、それを過ぎると興味を失うようプログラムされている
- ▶ 結婚そのものに興味があるのなら、出会って3年以内に決定した方が良い
- ▶ しかし、3年経過後、その結婚を後悔する可能性は多分にある
- ▶ 出会って3年経過後でも相手へ強い気持ちがあれば、その結婚は上手くいくかもしれない

同性愛

- ▶ 実は動物界では同性愛行動が500種類以上の動物で報告されている
- ▶ 動物はほとんど両性愛で、雌の発情期のみ異性間性行為が行われ、それ以外では同性愛行動が一般的
- ▶ 同性嗜好の歴史は古く、聖書やエジプトの象形文字、ギリシャ・ローマ時代の詩などにも見られる
- ▶ 同性愛は非生殖的であるにも関わらず、何世代にも渡って存在し続けている
- ▶ 同性愛は決してエラーではなく、普通に起こり得る事

異常は正常

- ▶ マスターベーションは馬、猿、イルカ、犬、ヤギ、象などで頻繁に確認される
- ▶ ボノボの社会では普通に乱交する
- ▶ 異種間セックスも鹿と馬などで見られる
- ▶ カエルやマガモに至っては屍姦もする
- ▶ 実は動物の性的活動の大部分は繁殖を目的にしていない
- ▶ 人類の性と思われるものは、他の哺乳類動物にも見られ、変態的・禁断的な行為ではない

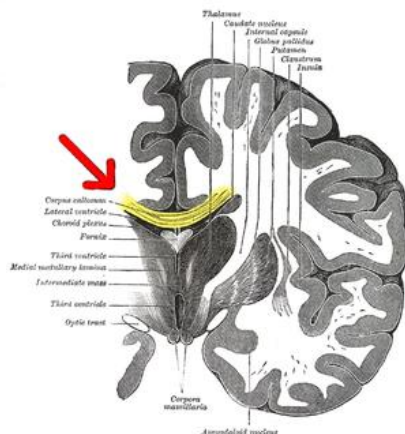
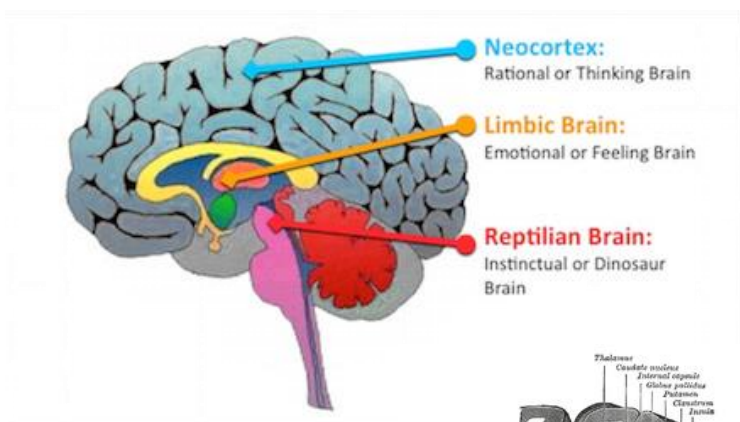
男性性と女性性

脳の大きさ（サイズ VS 効率）



- ▶ 脳は男性の方が大きいですが、女性の3倍の速さで脳組織を失う
- ▶ 女性の脳は効率性を重視しており、サイズの大きさに拘っていない
- ▶ 男性の脳はリスクを顧みず、どんどんサイズを大きくしていく

脳の使い方（専門 VS 調和）



- ▶ 女性は左右の脳を繋ぐ前交連と脳梁が男性より大きく、両半球を動員しやすい
- ▶ 女性は辺縁系が男性より発達し、新皮質とバランス良く使える
- ▶ 男性は右脳と左脳のどちらか、新皮質と辺縁系のどちらか一方だけを使う傾向にある（側性化）

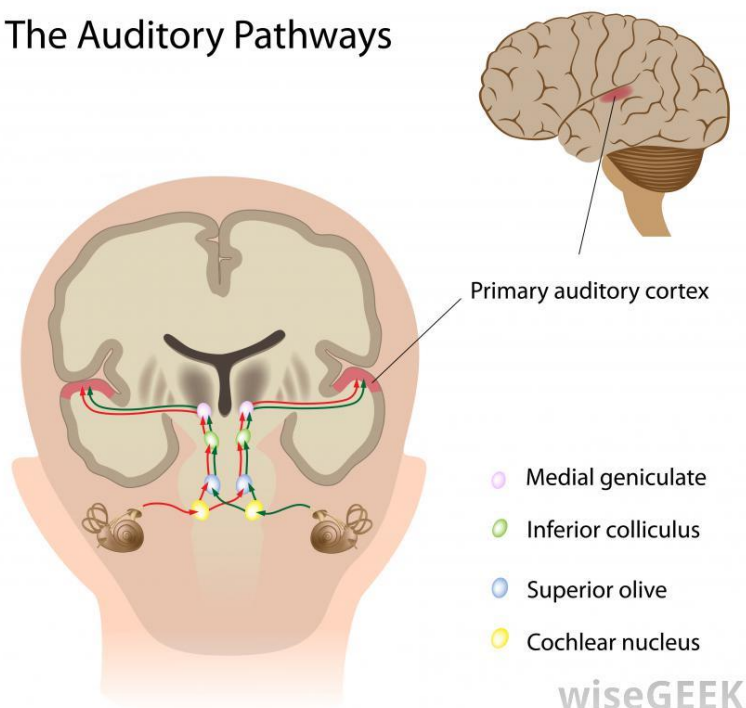
感覚器官（特化 VS 総合）



- ▶ 聴覚、嗅覚、味覚、触覚は女性の方が敏感である事がわかっている
- ▶ 視覚だけは男の方が強い
- ▶ 男性は視覚に頼りがちであり、女性は全ての感覚を重視する

聴覚能力（モノラル VS ステレオ）

The Auditory Pathways



- ▶ 女性は男性よりも両耳で音を拾う差が少ない
- ▶ 女性は左右の聴覚に関わる部分が男性より等しく、男性は左脳側の方が強い

集団生活（単独 VS 協調）



- ▶ テストステロンの高い男程、結婚をダメにする傾向にある
- ▶ 独身男性のテストステロンは既婚者よりも高い事が多い
- ▶ 囚人を比較すると、テストステロン濃度が高い程、凶悪犯罪者の傾向にある

社交性（クローズ VS オープン）



- ▶ 女性は男性よりも早くコミュニケーションを覚え、より多くの時間をそれに費やす
- ▶ 女性の方が社交に関わる脳領域が大きく、言語中枢と報酬系を繋ぐ神経回路も多い
- ▶ 女性が行いたいのは情報交換なので、機密性が高いものより開示されている方を好む

ケンカ（ドライ VS 粘着質）



- ▶ 男性はケンカで相手に大怪我させる事もあるが、終わったら素早く和平交渉に入る
- ▶ 女性のケンカは激しくないが、執念深く何日も怒り続ける
- ▶ 女性は「関係」に執念があるので、一度信頼を壊すと元に戻るのは大変
- ▶ 男性にとって仲間は潜在的敵でもあるため、「関係」は重要視されない

話題（ロマン VS 現実）



- ▶ 女子学生の話題は同級生、友人、好きな人、家族など、生活に関わる人々
- ▶ 男子学生の話題はスポーツ、政治、試験、勉強など
- ▶ 女性は噂話も好きだが、男性はそれ程でもない
- ▶ 女性は身近な事に興味があり、男性は夢や競争などのロマンに興味がある

感情能力（専業 VS オールマイティ）



- ▶ 男性は相手の幸福には気付けるが、悲しさを汲み取るのが苦手
- ▶ 男性は相手も男性なら感情を読み取れるが、相手が女性だと極端に下手になる
- ▶ 女性はどんな内容でも、どんな相手でも、男性より正確に感情を読み取る

地図能力（自動 VS 応答）

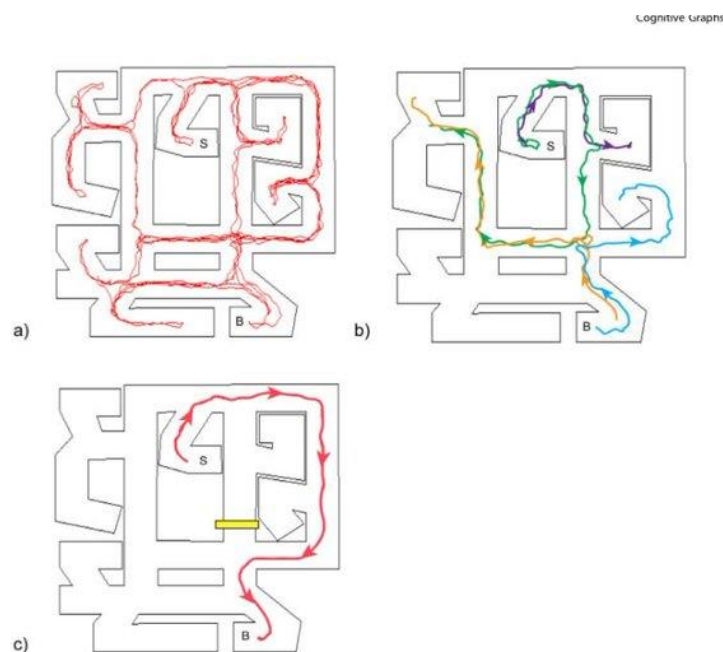


Figure 3. Novel routes taken during test. An example of a trial starting at the sink (S) and ending at the bookcase (B). a) All paths taken by a representative participant during the 10-minute exploration. b) Those exploration paths that start either from the sink (green, purple) or from the bookcase (orange, blue). c) A novel detour taken during test. The participant never traveled on that path or the reverse path during exploration. doi:10.1371/journal.pone.0112544.g003

- ▶ 男性は狩りの習慣により、頭の中に地図を作り上げる能力が高くなった
- ▶ 空間認知にはテストステロンが関連している
- ▶ 但し、目印を使う事を認めれば男女の優劣は消えてくる
- ▶ 男性は自動的に世界を地図にし、女性は必要な時だけ地図を作る

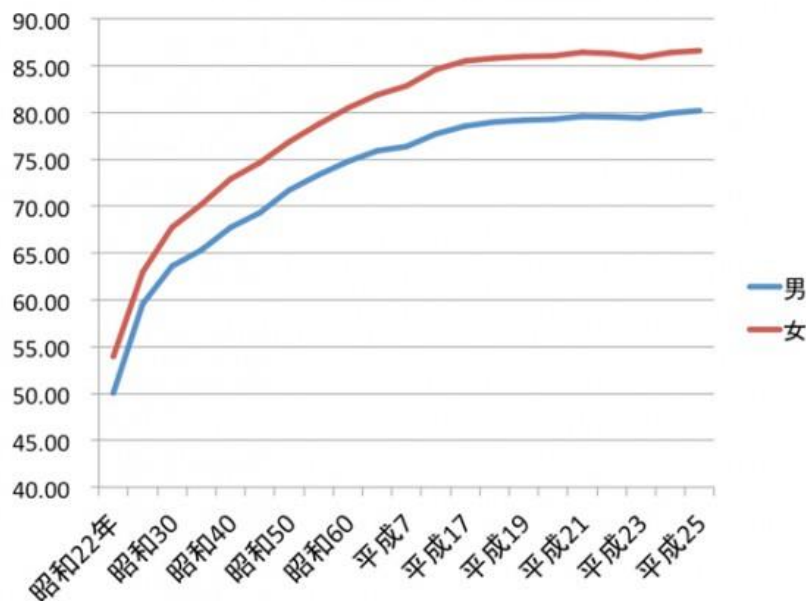
地位（ナンバー1 VS 平均）



- ▶ 地位の観念は男子は幼年時代の早くに生まれ、女子では早くには生まれない
- ▶ お医者さんごっこでは、男子は全員医者になりたがり、女子は誰が医者になりたいかを尋ねる
- ▶ 地位は男性の生殖上の成功と相関関係がある
- ▶ 女性は1度に1回しか妊娠できないため、権力を持って多くの男性をはべらせても利益が無い

寿命（使い捨て VS 長持ち）

平均寿命の年次推移



- ▶ 先進国では女性は男性より7年位長生き
- ▶ テストステロンは免疫系を抑制し、エストラディオールは免疫を活性化させる
- ▶ エストラディオールは心臓も丈夫にし、血液の凝固を防ぎ、善玉コレステロール濃度も上げる
- ▶ 男性は精子の供給だけなので基本使い捨て、女性は子どもを生んで養い育てる必要がある

冒険性（獲得 VS 現状維持）



- ▶ 男性は近道を考えて、よく知られた道筋を放棄する
- ▶ 男性は一か八かに賭ける傾向が強く、女性は冒険したがない
- ▶ 父親は赤ん坊を宙に放り上げる時、放っておくとどんどん高くしていき、母親はそれを咎める

目標達成（トレードオフ VS 欲張り）



- ▶ 男性は何かを得るために、何かを捨てるのは当たり前
- ▶ 女性は何かを得るために、何かを捨てるのは耐えられない
- ▶ 女性が我儘に見えるのは、何も手放そうとしないため
- ▶ 女性は今ある現実を壊される位なら、その目標は諦める

性的興奮（行動 VS 慎重）



- ▶ 異性を見た時、男性は素早く興奮し、女性は見ただけでは滅多に興奮しない
- ▶ テストステロンは視覚に関与し、男性は多くの子孫を残すべく一目で素早く反応する
- ▶ 女性は量より質なので簡単には反応しない
- ▶ 男性はセックスの事を1日3～5回考えていて、女性は週に数回から月に数回程度

脳と体（一致 VS 別々）



- ▶ 女性は脳の興奮と体の興奮が一致しない
- ▶ 男性は脳と体が一致しており、体が興奮すると脳はそれに連動して興奮する
- ▶ 女性は一見体が興奮して見えても、頭の中はしらけていることが多い

性的柔軟性（固定 VS 融通）



- ▶ 同性愛に対して女性の方が融通性がある
- ▶ 女性はどちらにも惹かれるが、男はどちらかにしかチャンネルを合わせられない
- ▶ 女性は器が大きく、男性はストライクゾーンが狭い

性欲のキュー（相手 VS 相手と自分）



- ▶ 女性の心を捉えるキューの1つが、自分が相手に望まれているという意識
- ▶ 男性は欲望の目を外に向け、視野は狭く完全に女性だけに注がれる
- ▶ 女性は視野が広く、自分の内面にも欲望の目が注がれる

性的関心（事象 VS 背景）



- ▶ 男性に人気のあるサイトトップ5は全てアダルト映像サイト
- ▶ 女性に人気のあるサイトトップ5は全てロマンス小説サイト
- ▶ 男性はあからさまな性描写を好み、女性は人間関係やロマンスを好む
- ▶ 男性は目に見える事象に関心があり、女性はその事象の裏にある背景に関心がある

性的注目点（パーツ VS 全体）



- ▶ 男性は女性の体をパーツで見ている
- ▶ 女性は体のパーツに魅力を感じず、全体を見ている
- ▶ 男性は自分の体もパーツで見ている

オーガズム（単純 VS 複雑）

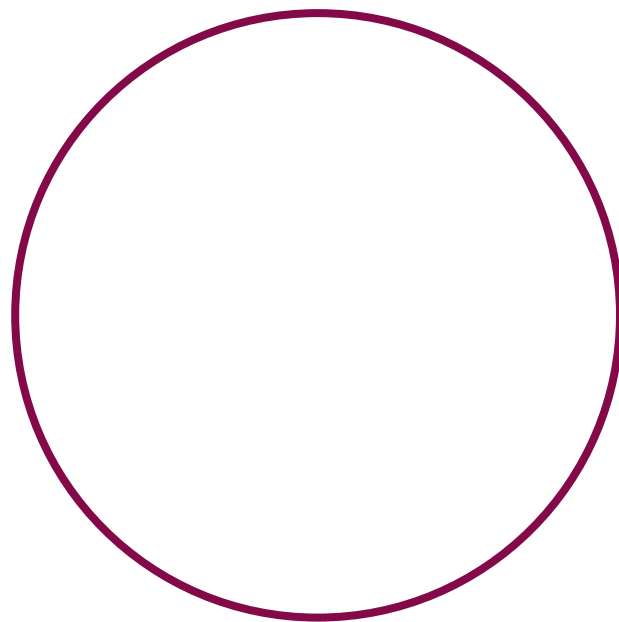
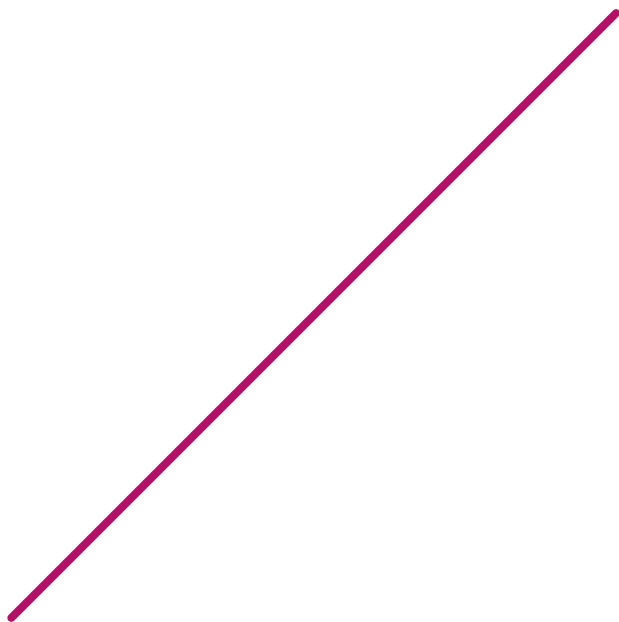


- ▶ 男性のオーガズムの仕組みは明快に分かっている
- ▶ 女性のオーガズムの仕組みはまだわからないところが多い
- ▶ そもそも何故、女性にオーガズムが存在するのも不明解明されていない

纏め (OR VS AND)

- ▶ 専門 VS 調和
- ▶ 特化 VS 総合
- ▶ 単独 VS 協調
- ▶ 専門 VS オールマイティ
- ▶ モノラル VS ステレオ
- ▶ パーツ VS 全体
- ▶ 一致 VS 別々
- ▶ 単純 VS 複雑
- ▶ トレードオフ VS 欲張り
- ▶ 事象 VS 背景
- ▶ 固定 VS 融通
- ▶ 相手 VS 相手と自分
- ▶ ドライ VS 粘着質
- ▶ 自動 VS 応答
- ▶ クローズ VS オープン
- ▶ ナンバー1 VS 平均
- ▶ 獲得 VS 現状維持
- ▶ サイズ VS 効率
- ▶ ロマン VS 現実
- ▶ 行動 VS 慎重
- ▶ 使い捨て VS 長持ち

纏め（直線 VS 円）

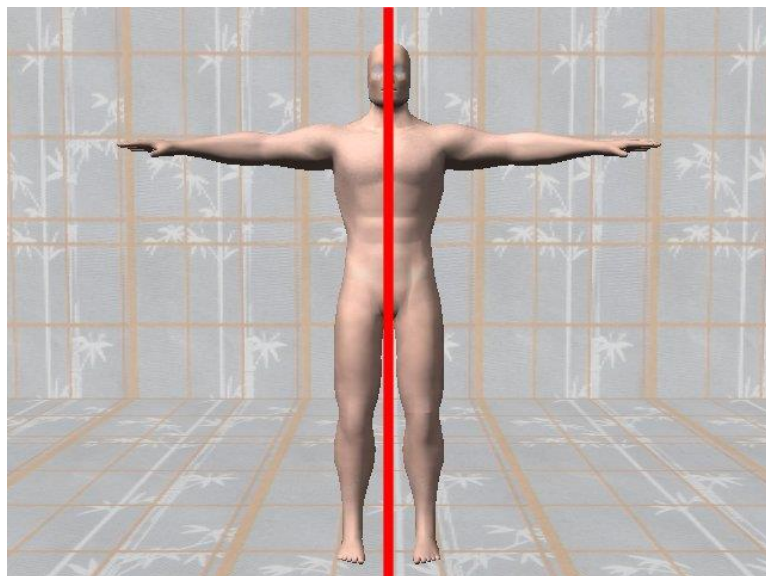


恋愛と性欲

性淘汰

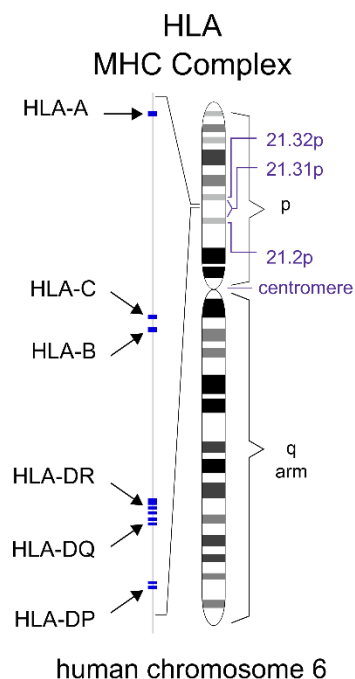
- ▶ 生物は配偶者選びを通じて、異性を惹きつけ、優秀な子どもを残すために形質を進化させていった
- ▶ 進化に関わる根本は「食料獲得の自然淘汰」「異性獲得の性淘汰」の2つ
- ▶ 生物は様々な性淘汰を受けて外見も内面も進化してきた
- ▶ 厳しい淘汰圧の中で、どのような人間が魅力的に見えるようになってきたのか？

理想の異性：シンメトリー



- ▶ 自然は対称性を遺伝的に良好だと判断する傾向にある
- ▶ シンメトリーに近い顔の人は免疫力が高く、歪んだ顔の人は健康上の問題が多い
- ▶ 乳房の形が対称でない人は乳癌発生率が高く、子どもの数も少ない
- ▶ 左右対称に近い男性は初セックスが約4年早く、射精時に多くの精子を放出する

理想の異性：異なる遺伝子



- ▶ 伴侶は限度を超えない範囲で違いが大きい程良い
- ▶ 遠い遺伝子に魅力を感じるようにさせているのは免疫システム（MHC遺伝子）
- ▶ ヒトの免疫系は汗の中に化合物を放出し、自分の科学的性質をハッキリ知らせている
- ▶ 汗に含まれる信号は唾液にも存在する事が確認されている

避妊薬

- ▶ ピルを服用した女性は、近い遺伝子の男性に惹かれるようになる
- ▶ ピルによって女性ホルモンが減少し、女性の相手探知能力が失われてしまう
- ▶ ピルを飲んだ女性は相手を選び好みしなくなり、行きずりのセックスが解放される
- ▶ 一方、ピルは性欲を落とす事もわかっている
- ▶ 避妊薬は矛盾に満ちており、セックスを解放しつつも、禁欲的になってしまう

理想の女性：若さ



- ▶ 男性が選ぶのは健康な子どもを生子そうな若い女性
- ▶ 卵が年を取ると、遺伝にヒビが入り、染色体の突然変異率が一気に跳ね上がる
- ▶ 基準になるのは、滑らかな肌、ふっくらとした唇、金髪など
- ▶ アダルトサイトの検索ワードの内、6つに1つは年齢に関するもの

2つのピーク

- ▶ 実はアダルトサイトで人気のある年齢には2つのピークがある
- ▶ 16歳・18歳のピーク（若い子）と、40歳・50歳（熟女）
- ▶ 熟女の魅力は性への積極さ、奔放さだと考えられている
- ▶ 男性が若さに惹かれるのは、長期的な肉体関係の欲求
- ▶ 男性が熟女に惹かれるのは、短期的な肉体関係の欲求

理想の女性：ガインイド脂肪



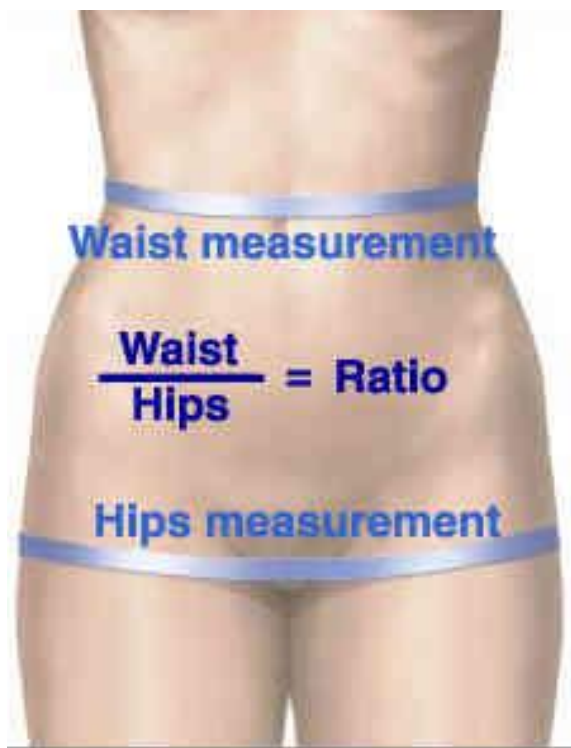
- ▶ 胸、お尻、太ももなどに蓄積される女性特有の脂肪
- ▶ エストロゲンによって作られており、出産能力を測る指標となる
- ▶ 性的検索ワードで特に人気が高いのは大きな胸と尻
- ▶ ガインイド脂肪率は青年期で最大になる

理想の女性：小さい足



- ▶ 実は女性の足のサイズの好みには文化による差が無い
- ▶ 各国で男性は足の小さい女性を魅力的と感じている
- ▶ 女性は妊娠時に足のサイズが大きなり、この時期は魅力的である必要は無くなる
- ▶ エストロゲンは足の骨の成長を抑制するため、小さい足も出産能力の指標となる

理想の女性：WHR



- ▶ 理想のWHR=0.7で、男性の報酬系を活性化することがわかっている
- ▶ ウエストのくびれはエストロゲンの多さを示し、大きなウエストは妊娠・中年を連想をさせる
- ▶ 理想のWHRを持つ女性は糖尿病や心臓疾患にかかりにくい
- ▶ WHRの質は生殖力と相関関係がある

理想の女性：フェチ



- ▶ 男性には平らな胸のファンもいるし、ウェストの大きさに惹かれる人もいる
- ▶ 男性の特殊なフェチは青年期の刷り込みで起こる事がわかっている
- ▶ フェチに最も影響を与えるのは射精

理想の女性：ライバル



- ▶ 男性には精子競争の歴史があり、ライバルの存在を確認すると興奮しやすくなる
- ▶ 男性が人妻に興奮するのも精子競争の1つ
- ▶ 男性は他の男の勃起したペニスと射精シーンだけでも欲情する
- ▶ 実験により、「男1：女多」より、「女1：男多」の方が興奮する事もわかっている

理想の女性：感度



- ▶ 感度が高い女性は男性の心を捉えて離さない
- ▶ 男性は女性が感じている表情や声に並々ならぬパッションがある
- ▶ 女性の快感は男性の中で忠実さに繋がっている
- ▶ 潮吹きやアヘ顔というジャンルは、こうした欲望が鋭利になったもの

本物志向

- ▶ 男性は本物かどうかの拘りが強く、女性の快感が本物か演技かをよく気にする
- ▶ 男性は肉対面でも本物を追求し、胸、年齢、処女などを気にする
- ▶ 男性の本物志向をくすぐるのが素人もの
- ▶ 素人ものは解像度の低いもの、ピンボケ、モザイクも多いが、それが真実味を増すので迎えられる

目新しさ

- ▶ ほとんどの種の雄は目新しい相手に惹かれるようプログラムされている
- ▶ 男性は一度オーガズムに達してから、同じ女性に再び欲情するのは難しい
- ▶ 新しい女性が現れたら、勃起も行為も可能となる
- ▶ 素人もの人気の高さは、本物の他に目新しさがあるから

赤ちゃんプレイ

- ▶ 赤ちゃんプレイを求めるのは、銀行員、株のブローカー、大学の学部長、CEOなど
- ▶ 平均年齢は45歳、収入は中流階級以上で、責任の重い仕事をし、重圧から解放されたいと思っている人達
- ▶ 社会的地位の高さがプレッシャーとなり、その逆の服従を求める
- ▶ 性的支配と社会的支配では脳の関与している部分が異なるので、全く不思議な事では無い

女性の性研究

- ▶ 男性の性研究はアダルトサイトが使われるが、女性はアダルトサイトを見る事が少ない
- ▶ 女性にとって男性のアダルト動画に相当するものはロマンス小説
- ▶ ロマンス小説は小説市場で最大シェアを誇り、読者の9割は女性
- ▶ 電子書籍の成功を支えているのはロマンス小説
- ▶ ヒロインは大抵処女で、ヒーローの愛がこもったセックスで初体験をするのが鉄板

理想の男性：アルファ



- ▶ あらゆるロマンス小説で唯一
普遍の共通点は、ヒーローが
アルファメールである事
- ▶ 群れのボス、集団のリーダー
など、支配的な男がアルファ
- ▶ 女性の脳は支配者層を示す情
報に敏感に反応する
- ▶ アメリカのナンパアーティスト
が決めているルール「常に
アルファであれ」

ヒーロー・アルファの職業

よく登場する職業

- ▶ 医師（特に外科医）
- ▶ 経営者、役員
- ▶ 王、王子
- ▶ 牧場主
- ▶ 騎士
- ▶ ボディガード
- ▶ 保安官

登場しない職業

- ▶ 肉体労働者（掃除夫、溶接工など）
- ▶ 役人（保険査定員など）
- ▶ 元女性の職業（美容師、幼稚園の先生など）

ベータ

- ▶ アルファよりは物腰が柔らかく、態度が小さい男
- ▶ 魅力は根っからの善人、心がピュア、誠実で我慢強いなど
- ▶ しかし、ロマンス小説読者の大半はアルファに惹かれる
- ▶ 女性は行儀が良くて言う事を聞いてくれる男より、ちょいワルが好き

優しさ

- ▶ 女性は優しい男性がタイプと言うが、この情報には前提が欠けている
- ▶ 女性はアルファの男性に優しくされるのが好き
- ▶ 外側はハードで手強いが、中身はソフトで甘いのがミソ
- ▶ 女性は男性の隠れた優しさを引き出す事に燃えている
- ▶ 優しさと思いやりだけでは女性の理想にはなれない
- ▶ 優しい内面×アルファという頑丈な外面が重要

理想の男性：経済力



- ▶ 経済力はアルファを示す大きな要因
- ▶ 物質的な豊かさは雌の脳を興奮させる
- ▶ ごく最近まで女性の長期的な幸せは、金持ちの男と結婚する事でしか得られなかった
- ▶ ロマンズ小説のヒーローは金持ち、もしくは成り上る人が多い

理想の男性：年上



- ▶ アルファであるには有能でなければいけない
- ▶ アンケート調査によると、女性は車を運転できない男性とのデートは気乗りしない
- ▶ 知能も重要でロマンス小説のヒーローに欠かせない
- ▶ 有能さを手っ取り早く感じ取れるのは年上である事

ボーイズラブ

- ▶ 男性同士のロマンス小説は非常に人気があり、最も成長率が高い
- ▶ 感情描写がメインで、体のパーツは詳細には描かれず、2人は永遠の愛で結ばれる
- ▶ 日本でもボーイズラブの漫画が人気を博している
- ▶ 登場する人物はアルファで、アルファ2人のやりとりは女性の心を2倍に興奮させる

理想の男性：人気者



- ▶ 男性の人気は女性を惹きつける大きな要因
- ▶ 既婚の男性に魅力を感じる女性も多い
- ▶ 他の女性のチェックが入って認められた事は優秀さを示している
- ▶ 女性は情報通で、パートナーの情報が足りなければ他人の知恵を借りる

理想の男性：愛の証



- ▶ 女性は自分の人間的魅力で男性から愛されたい
- ▶ 愛されたい願望は、大脳皮質と感情メカニズムの働きによる意識的なもの
- ▶ 女性の脳が最終的に見極めようとしているのは、男の愛の深さと信憑性

理想の男性：音楽的素養



- ▶ 音楽的な才能を持つ人は男性はよくモテる
- ▶ 音楽能力は空間認知力と関係があり、テストステロンの影響を強く受ける
- ▶ 音楽は内分泌生理に作用し、ストレス緩和の作用もある

理想の男性：食事情報



- ▶ 女性にとって男性との食事は資源提供力を推し量る材料
- ▶ どの国でも男性が女性をデートに誘うのは食事からが定番
- ▶ 女性にとってデートの頻度は継続的な資源提供の確認でもある

理想の男性：高身長



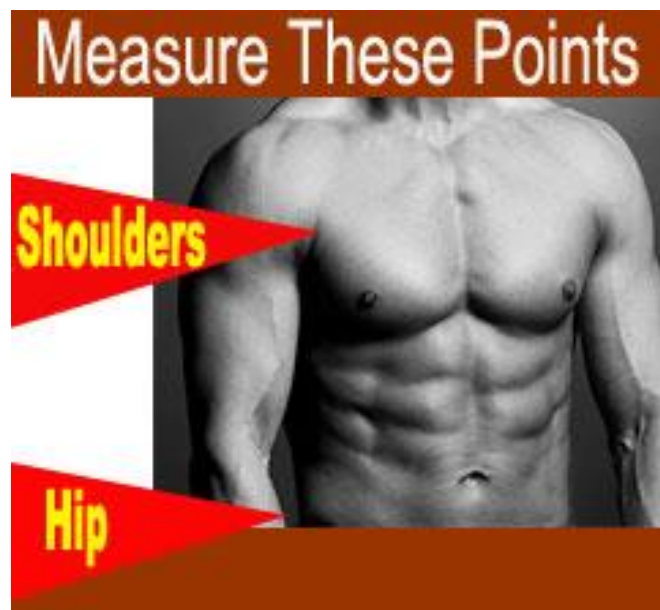
- ▶ 動物界も含め普遍的に魅力的な雄の特徴は大きなサイズ
- ▶ 人間では身長がこれにあたる
- ▶ 背の高い男性は魅力的と思われる、職探しも昇進も収入面も有利な事が判明している
- ▶ アメリカ合衆国大統領候補の80%は背が高い人

理想の男性：低い声



- ▶ 女性が魅力的と感じる男性の声は、原則的に深くて低音
- ▶ 低音を作るのはテストステロンと関連性がある
- ▶ 低音は生物界ではサイズの大さに繋がる

理想の男性：SHR



- ▶ 理想のSHRは1.3と言われ、筋肉質の体に映る
- ▶ 体の逞しさは狩猟採集時代から受け継がれている資源獲得能力を示す
- ▶ 体の逞しさ、筋肉質な体はテストステロンと関係が深い

理想の男性：男顔と中性顔



- ▶ 男らしい顔立ちを好む人がいる一方、フェミニンな顔立ちを好む女性も多い
- ▶ 適度に女性的な顔は分配能力を示すと言われている
- ▶ 男らしい顔付きは資源獲得能力が高いが、分配してくれない可能性がある

好みのサイクル

- ▶ 拡張性欲を備える種は、排卵のサイクルに応じて好みの種類が変わる
- ▶ 排卵期の間は短期的メリットを好み、妊娠不可能な時期は長期的メリットを好む
- ▶ 大半の時期は投資スタイルで、中性的な顔立ちで食料や子どもの支援などをしてくれそうな男を選ぶ
- ▶ 排卵期は投機スタイルで、男らしい顔立ちで支配的な地位にある優れた遺伝子の男を選ぶ
- ▶ 女性の好みは生理のサイクルで二本立てになっている

男らしさを求める女性

- ▶ 彼氏がいる
- ▶ 短期的な関係を築きたい時（浮気相手）
- ▶ 排卵期
- ▶ 自己評価が高い（自信がある）

チェック機構

- ▶ 女性は理想のタイプと出会っても、男性と違って簡単には体を許さない
- ▶ 女性にとってセックスは人生に関わる大きな投資なので、念入りのチェックが入る
- ▶ 女性は男性がセックスの事になると平気で道を踏み外し、悪事を企む事を知っている
- ▶ 女性は進化の過程で衝動的な行動が少しずつ減少し、洗練された神経系を備えるようになった
- ▶ 女性のパートナー探知能力は、卑劣で攻撃的な男を見極めるよう働く

4つの判定

- ▶ 感情的判定（ストーリー）
- ▶ 社交的判定（誠実性）
- ▶ 文化的判定（価値観）
- ▶ 身体的判定（健康）

究極のチェック

- ▶ 女性のチェック機能は数十万年の淘汰圧の中で受け継がれてきたもの
- ▶ 長期投資プランナーとして自然界で最も成功を収めている
- ▶ 男性は長期投資プランのために単純で手っ取り早い、若さとガインイド脂肪で解決する
- ▶ 女性は長期的視点で相手を調べ、状況の変化に順応する
- ▶ 魅力的な女性である程、チェック機構は厳しくなる

男性の悲劇

- ▶ 現代人は男性の2倍以上の女性の血筋を引いている
- ▶ 最近のDNA分析「人類の歴史を通じて、女性の約80%が子どもを残すが、男性は40%程度」
- ▶ アングロサクソン系の9カ国では調査「約3%の子どもは父親が本当の父親では無い」
- ▶ ある学者の言葉「過去に生きた男性ほとんどが子孫を残せておらず、自分達は危険を冒した男達の末裔」

恋愛均衡説

- ▶ 家柄
- ▶ 見た目
- ▶ ホルモンレベル（ドーパミンとテストステロン）
- ▶ 学歴や職歴

ベストパートナーを見つける確率

- ▶ 第1印象で女性のストライクゾーンに入る男性は約1%
- ▶ 男性の見た目の許容度は女性に比べて大きく約10%
- ▶ 視覚的にカップルが生まれる確率は $10\% \times 1\% = 0.1\%$
- ▶ その他の要因を踏まえると0.01%位になると考えられる
- ▶ 1万人と知り合って初めて相思相愛になれる
- ▶ 1日1人出会うとして約27年かかる計算
- ▶ ベストパートナーはそんな簡単に見つかるものではない
- ▶ 自分の魅力が増しても、恋愛均衡説で選ぶ相手が減るので、確率は変わらない

男女の同化

- ▶ 年を取ると男女の性質は近づき、区別は曖昧になっていく
- ▶ 見た目も年を取ると、性別がよくわからなくなる
- ▶ 男女差は生まれる瞬間ゼロで、思春期でピークとなり、死の直前でまたゼロに近づく
- ▶ 脳組織で男女差のある前頭葉も中年位になると同じようになる
- ▶ 哺乳類の染色体は2つのXが強力で、時間が経てば皆Xになるのではないとも言われる
- ▶ そもそも、男性にも女性性があり、女性にも男性性がある
- ▶ だから、あまり男とか女とか意識し過ぎない

男と女を踏まえて

